

青空おやつ

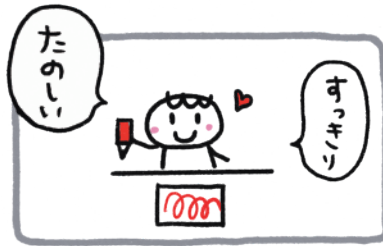


やさしさをふやすしくみ

青空おやつづくり

おえかきすると...

おやつがもらえます



かいたえは...



わたしたえは...



たのしくおえかき
したことが、だれかの
やくにたつ



青空おやつは
みんなのやさしさで
そだてるしくみ



特徴

支援する・支援されるの垣根がない
だれでも参加できる(参加費なし)
場所を問わない(空き場所の有効活用)

役割

たのしくやさしく心とお腹を満たす
体験から様々なことを学ぶ(アート・芸術)
安心できる大人との出会い(専門家への窓口)

できることをできるぶんだけ

青空おやつ



やさしい関係をつくるのが目的なため、場所を選ばず、
空き場の有効活用ができ、拡張性のある活動ができる。

おやつや物資は

- 「Amazon ほしいものリスト」でのご協力
- オンラインストアで「おやつたね」購入によるご協力
- 「風を売る商店」で募金箱によるご協力
- 厚木市市民活動推進補助金 (2021年7月より)



これまでの成果 (2022年10月まで)

実施回数：22回 総参加者：701人 ボランティア参加人数：延べ20人

- Amazon みんなで応援プログラムに掲載後、一年分のおやつ代、クレヨン、画用紙などを確保できるようになりました。
- 普段は「絵が描くのを好きではない」という子が、青空おやつではたのしいと言って描いてくれています。
- 青空おやつに慣れた子どもが友だちに青空おやつのおもしろさを説明してくれる場面が出てきました。
- 公園でケガをした子がいたら、私たちに頼ってくる場合があります。
- 青空おやつで知り合った子どもと街で会った時に挨拶されるなどの関係性を作れています。
- これまでコロナウイルス感染による中止はありません。

新しいと思っている視点

- 居場所を一から作るのではなく、既にある場所にソフトをインストールするとそこが居場所になる。
- 再現可能なものを作り、誰もができるようにする（再配布可能なフリーウェアの考え方）

どんな場所でも「青空おやつ」をインストールすると = 居場所になる

今後の目標


- 認知度（知名度）をあげる。
子どもがやりたいと言っても、親がだめというケースがあるため。
- 誰もが気軽にボランティアに参加できるシステムづくり
- 交換可能でリーダー不要の組織づくり
- 専門性のある団体との連携
- やさしさによってつながる境界の曖昧な集団を構成
やさしさを貨幣として、ちがいを越えて、弱いつながりの輪を広げていく。

公園にインストール



居場所





私たちが思い描く未来は
やさしさでつながる世界です

「資本主義」から「やさしさ主義」へ